

子どもの可能性を伸ばす方法は、○○○○○

校長 前田 浩二

10月27日(土)から28日(日)の2日間、日本PTA九州ブロック研究大会鹿児島大会に行ってきました。2日目に鹿児島アリーナで開催された全体会の大嶋啓介さんの講演

「大人が変われば子どもが変わる 子どもが変われば未来が変わる」にとっても感銘を受けましたので、次の二つのことを御紹介します。

一つ目は、「予祝」についてです。「予祝」とは、先に喜び、先に祝うことで現実を引き寄せるといふ意味の言葉で、日本人は昔からやっていたそうです。例えば、花見は満開の桜を秋のお米の実りに見立てて、先にお祝いすることで、豊作を引き寄せるといふ行事だということでした。今も「予祝」を実践している人がいます。例えば、ソフトバンクの孫正義さんはプロジェクトを立ち上げる時には、プロジェクトが成功したときのことをイメージしてガッツポーズをして、先に喜ぶそうです。大嶋さんは高校野球のメンタル研修を行っていて、甲子園で勝利したことをイメージして、校歌を歌ってから練習をさせています。関わった約50校の中でなんと14校が実際に甲子園出場を果たしたそうです。この「予祝」を実際に活用してはどうでしょうか。志望校に合格したことをイメージして、合格発表の日のことを日記に書いて、毎日それを読んでから勉強するというのも効果があるかもしれません。ぜひ、参考にしてください。

二つ目は、タイトルの「子どもの可能性を伸ばす方法は、○○○○○」についてです。○に入る言葉は、「家庭の空気」だそうです。もちろん明るい空気です。その空気をつくるのは「お母さんの笑顔」だということでした。お母さんのキラキラした姿が子どもにとっても良い影響を与えるそうです。では、明るい家庭の空気をつくるためのお父さんの役割は何でしょうか？それは、お母さんの笑顔を増やすことだそうです。会場内の女性一同、そのとおりに言わんばかりに大きくうなずいていました。

最近夢や希望をもたない子どもが増えてきていると言われてますが、その最大の原因が親の疲れた姿にあるそうです。子どもはその姿を見て、「大人って疲れるんだ。」「仕事って疲れるんだ。」というイメージをもつのだそうです。なかなか難しいことですが、子どもの前では笑顔でいましょう。笑顔をつくることで親自身の心も元気になるかもしれません。子どもの可能性を伸ばす方法は、明るい家庭づくりです。

枕崎市読書感想文コンクール

- | | |
|-------------|-------------|
| 入選 2年 田中 響 | 入選 3年 谷 知沙紀 |
| 入選 3年 萩原 藍斗 | 佳作 1年 宮路 凜香 |
| 佳作 2年 楠 圭輔 | 佳作 2年 庭月野 萌 |
| 佳作 3年 畠野 莉子 | |

地区中体連新人大会(バドミントン競技)

- | | |
|-------------|-------------------|
| 女子団体2位 | |
| 女子共通個人ダブルス | 2位 上村 陽芽奈・庭月野 萌ペア |
| 女子2年個人シングルス | 2位 上村 陽芽奈 |

立神の如く

私の中学生時代

3年1組副担任・社会担当 上野 真帆

私の通っていた中学校には、朝のランニング(以下、朝ラン)があった。この活動は、私が中学校に入学する以前から行われており、現在も続いている。約15年もの歴史がある。

朝ランは、毎朝7時20分からスタートする。月、水、金は、3000m走(外周300m×10周)、火、木は、インターバル走というスケジュールであった。当時、ソフトテニス部に所属していた私は、スタートの25分前には登校(自宅から学校までは約20分の距離にあり、毎朝6時半すぎに自宅を出発)し、ウォーミングアップがてら20分くらい部員と乱打をしていた。その後、部活動単位で準備運動を済ませスタートラインに並んでいた。いざスタートと言いたいところだが、スタート位置を確保するのが一苦勞であった。というのは、男女ソフトテニス部、男女バレーボール部、男女バスケットボール部、サッカー部の総勢80名ほどが一斉にスタートするため、中には生徒同士足が絡んだり、後ろから押されたりして転んでしまう生徒もいたからだ。だから、私は、準備運動が終わるとすぐに、スタートラインに並び、スムーズに走れる位置を確保していた。

スタートしてから走り終わるまでは、顧問の先生が1週のラップタイムを拡声器を使ってその都度報告してくれた。これを基に、今日は自己ベストが出る、調子が悪いなどを考えながら走っていた。当然、自己ベストを更新したときは、とてもうれしかった。

全員が走り終わった後は、ミーティングがあった。そのときに顧問の先生が「夏の暑い時期、冬の寒い時期に頑張ったら秋の涼しい時期、春の暖かい時期に良い結果が出る。」とよくおっしゃっていた。正直、夏の炎天下、冬の北風が強い中での朝ランは、苦痛であった。しかし、これを乗り越えたからこそ自己ベストを更新することができたのだ。また、それと同時に自己ベストを更新することの楽しさも覚えることができたのだ。

中学校を卒業して10年が経つが、朝ランはとても良い思い出として残っている。ただ、現在は、中学生のときのように走ることはできませんが(笑)。

入賞おめでとうございます

第52回枕崎市総合文化祭(金賞のみ掲載)

- | | | |
|--------|-----------|-----------|
| 〈美術の部〉 | 2年 吉峯 一龍 | 2年 上山 大空 |
| 〈硬筆の部〉 | 3年 神山 ころこ | |
| 〈書道の部〉 | 1年 小湊 瑠奈 | 2年 木村 星空 |
| | 2年 上村 陽芽奈 | 3年 桑原 日菜子 |

第28回南薩地区選抜中学校女子バレーボール知覧大会

- | | |
|-----------|----------------|
| 女子バレーボール部 | 第3位 |
| 3位 | 田崎 真衣・松野下 璃桜ペア |
| 3位 | 寺田 彩乃 |

地域が育む「かごしまの教育」県民週間

立神中学校では、11月1日から10日までの期間に、学校行事等を実施しました。

第25回文化祭 〈11月2日(金)〉

Smile flower ～ 今、満開に咲き誇れ ～



人権学習講演会 〈11月8日(木)〉

～ 偏見、差別のない社会を願って ～

星塚敬愛園の上野正子さんによるハンセン病問題に関する人権学習講演会がありました。

生徒の感想より*****

- ◇ 差別は絶対にしてはならないと改めて思った。一つ一つのことについて、正しい知識をもって行動したい。また、人と違うところを恥ずかしがらないで堂々と生きようと思った。



- ◇ 今でもいろいろな差別があるが、それらの問題に向き合い、解決するために考えていくことがこれから必要だと思った。

芋を使った調理(1年生) 〈11月10日(土)〉

～ 郷土の食材を調理しよう ～

5月に植え付けをして、10月に収穫した芋を使って調理をしました。メニューは、がね(芋の天ぷら)、鰹だしを使ったスープの手打ちうどん、かんたんスイーツポテト。学校応援団のみなさまにも指導していただき、とてもおいしい料理ができました。

